

[ポインセチアの商品性向上]  
用土改善・枝数制限による切り花の品質向上

矢沢宏太・高木章雄\*  
(江戸川分場・\*中央農業改良普及センター東部分室)

---

【要約】鉢用土を赤土主体からピートモス主体に変更すると、ポインセチアの生育は促進される。その結果、切り花生産において、より長い切り花長の製品を得ることができる。

---

【目的】

ポインセチアの切り花生産に関わる最大の問題点は、得られる切り花長が短いことと、出荷作業に関わる経費が大きいことである。このため、現状では鉢物生産に比べて利益が少ない。そこで、より長い切り花長を得るための技術改善方法を検討する。

【方法】

切り花生産に適合する2品種‘ウインターローズアーリーレッド’、‘ジェスターレッド’を用いた。表1に示す組成の2種類(標準, 改善)を定植用土とし、発根苗を5号鉢に鉢上げした。摘心は9~11節目のソフトピンチ、追肥は全て液肥を用い、定植1週間後からピートース15-5-25PL;500倍、着色開始以降はピートース10-30-20;500倍+大塚2号(N11, Ca16)2000倍を、11月上旬まで7~10日毎に施用した。各品種・各用土とも、供試株の半数について側枝を6本残して間引きし、枝数制限処理区とした。採花は、第1花の開花した側枝から順次行った。栽培は全て分場内ガラスハウスで実施した。鉢上げから採花までの栽培管理・処理実施時期は図2の通り。売上計算に関わる単価、経費は、江戸川区内生産者の本年度実績を元に算定した。

【成果の概要】

- 1) 用土改善・枝数制限処理により、‘ウインターローズアーリーレッド’で開花時期の斉一性が高まり、採花期間が短くなったが、‘ジェスターレッド’では処理の影響を認めなかった(図1)。
- 2) 用土改善・枝数制限処理による平均切り花長の増加効果を両品種で認めた(図2)。分散分析の結果、これらの効果はいずれも有意であった(データ略)。この結果、対照(標準用土・枝数制限無処理)ではほとんど得られない40cm級が収穫可能となった。特に、‘ジェスターレッド’でこの傾向が顕著であった(表3)。
- 3) 用土改善・枝数制限処理は、いずれも側枝の徒長的伸長を促す作用を示さなかった(表2)。このことから、2)で認めた効果は、側枝の生育が促進された結果であると判断した。
- 4) 以上より、用土改善・枝数制限処理は切り花の品質(長さ)向上に有効であることが明らかになった。
- 5) 現在の取引相場に準拠して、収益性を試算した。‘ウインターローズアーリーレッド’では、用土改善により鉢あたりの売上金額(出荷経費差し引き後)が顕著に増加した。しかし、枝数制限処理は、総採花本数の減少により売上金額の減少をもたらした(表3)。「ジェスターレッド」では、用土改善・枝数制限処理により生育が進むほど側枝の折損が多く、採花本数が少なくなった。結果的に対照の売上金額(出荷経費差し引き後)が最も高かった(表3)。収益性改善のためには、鉢容積の拡大、枝数制限処理の制限枝数見直し、側枝折損防止対策等が必要である。

表1 供試用土の組成と成分分析結果

試験区	基本用土の混合容積比						基本用土への添加量(kg/m <sup>3</sup> )						使用前の分析値(蒸気消毒後)					
	赤土	腐葉土	ピートモス	過石		マグアンプ	苦土	石灰	苦土	加里	pH	EC	リン酸	交換性	交換性	交換性		
				マグアンプ	苦土												可給態	交換性
改善	1	1	3	1	5	0.6	6.7	1.0	378	639	292	192						
標準	3	1	1	3	5	0.2	6.5	1.2	199	559	267	117						

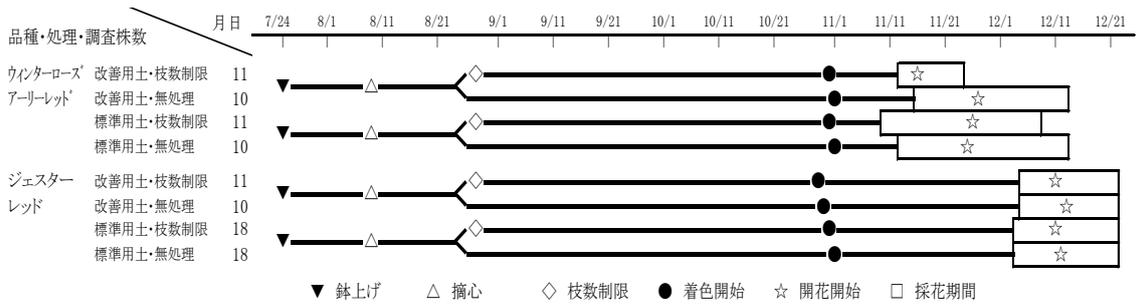


図1 栽培管理暦・枝数制限処理実施時期と開花反応・採花期間

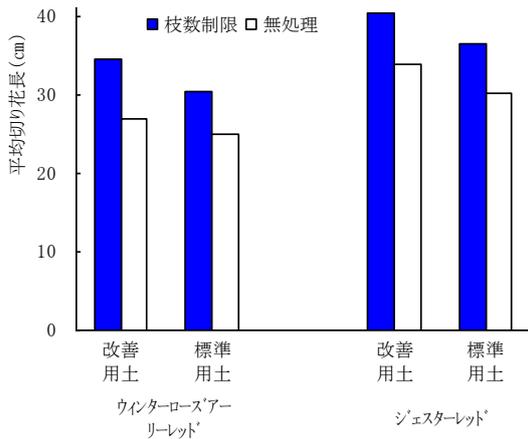


図2 切り花長に対する用土改善と枝数制限の影響

表2 切り花の特性に対する用土改善・枝数制限の影響

品種	試験区		調査株数	調査枝数	調査節数	基部茎径
	用土	枝数制限				
ウインターローズ アーリーレッド	改善	処理	5	29	22.5	7.4
	改善	無処理	5	60	20.0	6.3
	標準	処理	5	28	20.8	6.8
	標準	無処理	5	43	20.7	6.5
ジェスター レッド	改善	処理	5	22	22.4	8.0
	改善	無処理	5	27	20.4	7.0
	標準	処理	5	25	20.5	7.5
	標準	無処理	5	35	19.9	7.0

表3 採花本数と売上金額の試算

品種	試験区		調査株数	折損 <sup>a)</sup> 枝数	長さ(cm)別採花本数(本/鉢)					売り上げ(円/鉢) <sup>b)</sup>			
	用土	枝数制限			合計	50≤	40≤49	30≤39	20≤29	≤19	粗収益	出荷経費差引後	
			実額	可能額 <sup>c)</sup>									
ウインターローズ アーリーレッド	改善	処理	11	0.1	5.9	0.0	0.3	4.9	0.7	0.0	752	397	404
	改善	無処理	10		11.8	0.0	0.0	4.1	5.9	1.8	1123	523	
	標準	処理	11	0.5	5.5	0.0	0.2	3.2	1.5	0.5	595	301	339
	標準	無処理	10		9.9	0.0	0.0	2.4	4.5	3.0	762	348	
ジェスター レッド	改善	処理	11	2.0	4.0	0.0	2.2	1.5	0.2	0.1	546	312	452
	改善	無処理	10		5.4	0.0	0.2	3.7	1.3	0.2	641	329	
	標準	処理	18	0.9	5.1	0.0	0.6	4.0	0.5	0.0	662	355	462
	標準	無処理	18		8.5	0.0	0.1	4.6	2.8	1.1	887	440	

a) 採花時期前の折損。

b) 販売単価 50≤:@180円, 40≤49:@150円, 30≤39:@130円, 20≤29:@100円, ≤19:@0円として計算。出荷経費@60円として計算。

c) 折損がない場合の推定金額